

**令和3年度第3回
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会**

1 日 時

令和4年2月16日（水） 14:00

2 場 所

本校管理棟2階 資料室

3 出席者

学校関係者評価委員（5名）

私立大学講師，元幼稚園園長，前町内会長（下宿生），同窓会副会長，PTA 副会長

校内委員（10名）

校長，教頭（2名），教務主任，生徒指導主任，進路指導主任，保健主任，商業科主任，
教務副主任（記録係）

4 会 順

(1) 学校長挨拶

(2) 各部等の年度反省と今後の課題

- ① 教務部
- ② 生徒指導部
- ③ 進路指導部
- ④ 保健部
- ⑤ 商業科

(3) 学校評価アンケート結果報告

5 質疑応答，提言等

- ・ 学校評価アンケートの読書指導の評価が低い。健康長寿には、読書が一番影響を与えるということをテレビ番組で特集していた。朝読や昼読などの取り組みは、鹿児島県も進んでいるが、健康長寿にはつながっていない。他県では「家読」という取り組みが進んでおり、本を家庭に持ち帰り、家族で本を読んで、感想等を言い合ったりしていると言う。家族で話すことは、今、一番不足していることであり、親に自分の気に入った本を進めたり、感想文を書いたり、家族での関係性を深めるのに効果的である。
- ・ 募集が少ないのはもったいない。国際経済科の語学学習など、英語や中国語、韓国語を学んでいるので、それを活かすことはできないか。もっと子供たちに興味を持たせる方法はないものか。
- ・ 高大連携をもっと進められないか。鹿児島国際大学（一番進学者が多い）との連携はできないか。
→ 以前から鹿児島国際大とは高大連携を行っているが、今年度は実施することができなかった。来年度は実施できるようにしていきたい。

- ・ 学校評価委員会の趣旨を再確認したが、信頼させるためには生徒数が必要である。
 - 募集定員の確保について、学校として様々な努力をしてきたつもりだが、力及ばずであった。様々な角度から分析を深めて、あらゆる手立てを図っていききたい。特に広報活動について、これまで以上に力を入れていききたい。
- ・ 会計や商業という言葉がよくないのではないか。何を学んでいるのか、何をしたいのかがわからない。運動系の部活動だけではなく、プログラミング講座などの文化系などのことも もっとアピールしていくべきである。
- ・ 鹿商に来て、こういう大学や企業に将来いけるんだということをもっとアピールしていくべきである。
- ・ いかに先をみて教育をいっているかを中学生に話をしていくべきである
- ・ 情報発信をもっとしていくべきである。
- ・ 体育祭は中止だったが、どうしたら実施できるかを議論して実施している学校もある。鹿商はどうだったか
 - 市立3校（鹿商・女子校・玉龍）と連携をし、また、市教委や関係機関などとも慎重に協議しながら、中止を決定した。
- ・ 倍率の高い学校とどう違いがあるのかをもっと検討するべきではないか。
 - それぞれ学校の特徴があり、どこを参考にするかは難しい面もあるが、鹿商にとって何が足りないのかを分析していきたい。
- ・ ブラック勤務はないのかどうか。
 - 部活動を熱心に指導されている先生方の大幅な超過勤務があるのは事実である。校長としても面談等を実施しながら、部顧問の配置等、働き方改革を進めていきたい。
- ・ 昨日の新聞（出願者数）の件より、何か抜本的な改革が必要ではないか。
 - 学科再編など市教委と協議しながら学校全体で知恵を絞って対処していきたい。
- ・ 自動車学校にはもう少し早くいけないか。部活を引退したらすぐに行けないか。
 - 以前より早く入校できるようにはなった。これ以上早くすることは、早々に就職が内定した生徒と進学組の進路決定にタイムラグがあり、進路指導や生徒指導上難しい面がある。
- ・ コロナ対策でいざというときに人の心がわかる
- ・ 悪いこいとはっきり言う先生が生徒にとっていい先生であると生徒は言っている。
- ・ 当たり前のことを当たり前と言ってほしい。
- ・ せっかく募集して入ってきた生徒が楽しいと思えるようなやる気のある先生に、頑張ってもらいたい。
 - いただいた御意見を真摯に受け止め、教職員一丸となって教育活動に専念する環境づくりに努めたい。
- ・ 今回のような意見を出せる場があれば、お互いにとってよいことである。
- ・ 今の子供たちは、幼稚園から大学までずっと募集に苦勞する。
- ・ 資料もわかりやすい。
- ・ なぜ生徒が集まらないのか。
- ・ 横断幕等でアピールできないか。どういった方法が一番いいか。
 - 場所等については、今後検討していった。
- ・ 道路拡張など、バス停からの道筋等を考える。

→ 日枝神社横の道路拡張については、財産権等の問題などがあるため難しい面もあるが、市教委や関係機関へ要望していきたい。

- アクセスの方法等をもっと具体的にすべきである。
- 登下校しやすい道を考えていく。
- 読書は今の時代に一番必要ではないか。

→ 朝読書の充実をはじめ、読書指導のあり方について検討していきたい。

- 心の教育が1日10分、20分でもいいのでできないか。
- 生徒だけではなく保護者の態度も挨拶等考えるべきである。